

まずは産業活力の再生 そして環境首都へ、 新たなスタート!



3期目を迎えるのびのびまち

2月6日の市長選挙にて、3度目の当選を果たすことができました。私がいただいた6万票を越す民意が、ずしりと重く感じられます。1票に込められた「声なき声」におこたえできるよう頑張ります。

さて、世界同時不況から始まった不透明感の強い世相は、まだしばらく続くものと思われれます。幸い本市の財政は健全性を保っております。こうした時代にこそ効果的な財政出動を図り、まずは産業活力の再生に努めます。特に、この地域の基幹産業「ものづくり」の活力回復は喫緊の課題です。新年度予算に経済対策を盛り込むのはもちろんですが、状況により追加対策を講じてゆきます。最近では、働く意欲のある若者が、就職先を見出せない状況にあると聞きます。明日を担う若人が、未来に希望を見出せる社会にしてゆくこと。それが、責任ある私たち大人世代の務めであると考えます。

「市民とともに育む環境首都・安城」を掲げた本市の10か年計画(第7次総合計画)は、残る期間があと4年になりました。この任期中に目標を達成し、本市が環境首都と呼ばれるように、環境施策の精力的な展開を図ります。多くの市民の皆さんに、本市で暮らすことを喜んでいただけるよう、職員が一丸となり全力を尽くします。市政に対する引き続きのご理解とご協力をよりしくお願い申し上げます。市長就任のごあいさつといたします。

安城市長

神谷 学



新たな公約10項目

- ① 減税と公共投資で、新たな産業と雇用を創出
- ② 総合政策による環境首都の実現
- ③ 広域視点と市民目線、2つの視点で行革を推進
- ④ 南吉童話の世界をまちづくりに展開
- ⑤ 高校生までの医療無料化と、若者の結婚支援
- ⑥ 時代に即した学校・生涯学習の環境を充実
- ⑦ 孤独死を生まない安心社会の確立
- ⑧ 障がい者の、親なき後の生活確立を図る
- ⑨ 市民生活の安全安心をより向上
- ⑩ 市民が市政に、より参加しやすい環境づくり